SDGs達成に向けた取組みチェックシート

カテゴリ	チェック項目	3側面該当			具体的な取組	関連する主なSDGs														
		環境	社会	経済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	**【ダイバーシティ経営の促進】** ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ 等)が、十分に活躍できる環境が整備されている。		○	○	・年齢や身体の状況に関わらず多様な人材が活躍できる職場づくりを 促進している。 ・中高年者を積極的に採用している。					○			○		○						
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を 導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。		○	○	・半日休暇制度、フレックスタイム制を導入し、柔軟な働き方の支援に力を入れている。 ・仕事と家庭の両立のための充実した制度を設けており、育児・介護休業中及び復職後の従業員への支援や男性の育児休業取得促進等 に取り組んでいる。					○			○		○						
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、 ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。		○	○	・ハラスメントに対する相談窓口を設置している。 ・全従業員を対象とした勉強会の実施等、ハラスメント行為を防止する 体制を整備している。					○			○		○						○	
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に 取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。		○	○	・労務管理ルールを設け、長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・健康・メンタルヘルス相談窓口を設けている。 ・全従業員を対象にストレスチェックを実施している。			○		○			○								
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を 提供している。		○	○	・従業員の業務のスキル向上、法令遵守に基づくコンプライアンス意識 の向上を図るため、資格試験の受験を推奨し、受験料については会社 負担としている。 ・将来の人材育成を目的としたOJTに取り組んでいる。				○	○			○	○							
環境	**【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】** ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に 努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・古紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等について、分別 回収ボックスの適正配置等により、ごみの分別を徹底している。			○			○					○	○		○			
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、 温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○		○	・クール／ウォームビズによる冷暖房の使用抑制など、エネルギーの 効率的な利用を行っている。 ・従業員に公共交通機関による移動を呼び掛けている。							○					○	○				
環境	**【生物多様性、天然資源への配慮】** ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか 確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○		○	・全社的な取組みである業務革新施策の一環として「紙使用量削減」 を掲げ、毎月の紙使用量を個人・部店別に開示し、ペーパレスを励行している。 ・使用済みペーパについては、分別回収によるリサイクルを周知徹底 している。						○						○	○	○	○		
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に 努めている。	○			・従業員への節水の呼びかけにより、水の有効利用や節水に努めて いる。						○											
製品・サービス	**【製品・サービスの安全性】** ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための 仕組みを構築している。		○	○	・自社システムの安定稼働・品質確保を図るため、定期的に、社内システム会議、ベンダーとの会議を開催している。 ・自社システムの利用状況を把握するため、所管部署が定期的にモニターしている。			○									○					
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップに より、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組 んでいる。	○	○	○	・不良債権の早期処理と円滑な事業再生が、国民経済の健全な発展に 資することを常に意識して事業を推進している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	**【個人情報保護】** ・個人情報を適切に管理している。		○		・個人情報などの保護に関する方針を策定している。 ・社内研修を行い、情報管理のルールを周知徹底している。 ・情報システムへのセキュリティ対策を施している。																○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する 体制・仕組みが整備されている。		○		・コンプライアンスを経営の最重要課題の一つと位置付け、「コンプラ イアンスの基本方針」を定めている。 ・全従業員向けにコンプライアンス勉強会を定期的に実施し、意識の 醸成に努めている。															○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。			○	・行動憲章を明文化している。 ・経営者が理念を持ち、適時、経営方針・経営目標を従業員に説明し、 共有している。								○	○								○
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生のおける事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・事業継続計画(BCP)を策定している。 ・緊急連絡網を作成し、緊急時の連絡体制を整備している。 ・後継者の指導・育成に取り組んでいる。									○		○		○			○	